



輝く
恵那人

238 人目



大井町岡瀬沢北

松井 あや 彩さん

□プロフィール

静岡県静岡市出身。システムエンジニアとして働きながら市内のラリーの大会に多数出場。趣味はスノーボードで、毎年子どもと一緒に行くことを楽しみにしている。



▲昨年、ウィメンズラリーに出場した松井さん

12月7日(土)と8日(日)に、国内唯一の女性ドライバー限定公認ラリーである「ウィメンズラリーin恵那2024」が開催される。大会では、市役所を発着点に、市内を巡る約130kmのコースをラリーカーが走行する。

松井彩さんは3年前からこの大会に出場。今年も、出場に向けてトレーニングに励んでいる。

静岡県静岡市で生まれ育ち、東京で就職した松井さんは、結婚を機に本市へ移住。恵那に来るまでは車とは無縁の生活をしてきたが、約3年前、知人に声をかけてもらったことをきっかけに、ラリーに興味を持った。初めは助手席に座ってドライバーに指示をするコ・ドライバーをやるはずだったが、ある時、急遽代理でドライバーをやることになった。運転免許は持っていたが、ラリーの車を運転するのは初めて。専門用語を覚え、競技としての車の操作方法を身に付けるのは大変だった。これを機

にドライバーとして活動するようになり、「ただ運転するだけでなく、スポーツとして車と向き合うようになった」と自身の変化を話す。

現在、平日はシステムエンジニアとして働き、休日はラリーの選手として活動する松井さん。ウィメンズラリーに向け、笠置山モーターパークで開催される大会に出場するなどして練習を重ねている。

「今年は、昨年よりも車を上手くコントロールして、順位を上げたい」とその意気込みを語る。

今では市内の大会に欠かせない存在となった松井さん。「ウィメンズラリーは、市内の景色を見て爽快感を得られるのが魅力の一つ。ラリーをはじめ、モータースポーツには、性別や年齢、経験問わず、AT限定の免許で取り組めるものもある。身近に感じてもらいたい」と話す。

松井さんはこれからも楽しみながらラリーを続け、上位を目指し大会に出場していく。

恵那を走る楽しさを感じて ラリーを身近に感じてほしい



その他の話題もウェブサイトに満載

News & Topics まちのわだい

9/8

本市で11年ぶりの開催
飛騨美濃歌舞伎大会



飯地町の五毛座で第31回飛騨美濃歌舞伎大会えな2024が開催されました。恵那観光大使の中村いてうさんのあいさつの後、恵那歌舞伎保存会、飯地五毛座歌舞伎保存会、明智町歌舞伎保存会が各演目を披露し観客を魅了。約300人が地歌舞伎を堪能しました。

9/8

夏休みの作品を表彰
木工作品コンテスト



「第15回えなの木、もりの木、きになる木コンテスト」が開催され、市内の小中学生らが制作した木工作品の展示と表彰式が行われました。中学校の部で最優秀賞の伊藤成^{なり}人さん（明智中学校2年）は「昨年は特別賞だったので最優秀賞をもらえてうれしい」と話しました。

9/19-20

歯は健康の源
8020運動表彰式



80歳で自分の歯を20本保っている方を表彰する、8020運動の表彰式が開催されました。本年は対象者のうち59人が達成。表彰を受けた額^ぬ額^ぬ護^ごさん（長島町）は「毎日、食事をしたらすぐに歯を磨くことを習慣にしています」と笑顔で話しました。

9/14

市制20周年を記念し
写真撮影で魅力を発信



市内を周遊し写真撮影をするイベント「フォトミート」が開催されました。参加者はインフルエンサーと市内5カ所を回り写真を撮影。自身のインスタグラムに写真を投稿し、魅力を全国に発信しました。写真は「#フォトミート恵那市2024」で見ることができます。

9/20

パラリンピックで5位入賞
工藤俊介選手が来庁



パリ2024パラリンピック競技大会のパラテコンドーで5位に入賞した、武並町出身の工藤俊^{しゅん}介^{けい}選手の報告会が行われました。工藤選手は「メダルが取れなくて本当に悔しかったです。大きな声援があったからこそ、大舞台上で活躍することができました」と振り返りました。

9/20

敬老の日を記念して
長寿を祝う



敬老の日の記念事業として、市長が102歳の奥村貞子^{さだこ}さん（三郷町）を訪れ、長寿を祝う祝状や花束などを渡しました。奥村さんは、息子夫婦や孫たちと一緒に自宅で暮らしており、「テレビの歌番組を見ながら一緒に歌うことが好き」と話しました。

追記：本紙10月号に掲載の「元プロ野球選手から学ぶ野球教室」は、岩村ライオンズクラブの主催です。